

もくじ



森林の里親契約	1
特集 新型コロナウイルス感染症による県内林業への影響と対策	2
トピックス	4
木曾町役場／ソヤノウッドパワー発電所竣工式	4
信州就林セミナー開催／下伊那農業高校林業体験	5
狩猟解禁／なっとく！森林経営管理制度	6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8

森林(もり)の里親協定による台風被害地の森林再生と地域交流が始まります



協定調印式(小諸市役所)



浅間山麓の森林作業予定地で記念撮影



森林再生方法を学ぶ(森林組合説明)



カラマツの記念植樹(浅間山麓)

小諸市の私有林をフィールドに森林の里親協定が締結され、里親企業の支援で森林再生と地域交流がスタートしました。協定は、森林づくりへの支援と地域交流活動を行う「三井住友カード株式会社」と、森林づくりや地域交流の企画・運営を行う「一般社団法人モアトゥリーズ」を里親とし、フィールドを提供する「森林所有者」、森林管理や地域交流を担う「天狗温泉浅間山荘」、森林再生作業を行う「佐久森林組合」、立会人として「小諸市」、「佐久地域振興局」の7者で、10月に関係者による協定調印式が行われました。

協定の内容は、昨年10月の東日本(19号)台風により風倒木が発生した森林の再生に、里親企業が費用面で支援を行い、地元森林組合が令和8年度までに風倒木の処理や地拵え、植栽、下刈り作業を行い、交流活動なども行う予定となっています。

【佐久地域振興局】

新型コロナウイルス感染症による県内林業への影響と対応について

〜コロナ禍に負けない産業を目指して〜

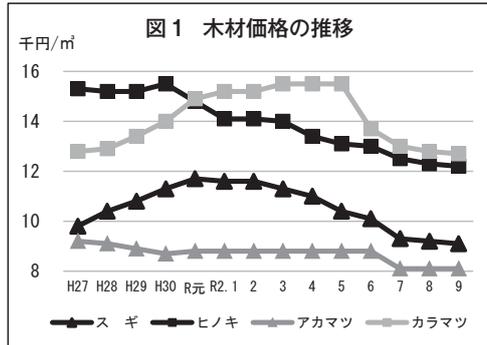
長野県林務部森林政策課

素材生産、木材価格等の動向

県内の素材生産の状況は、合板工場が新型コロナウイルス感染症による景気減退を見越した生産調整や受入制限を行っていることから、合板用として生産された木材の滞留が発生しています。また、木材価格も下落傾向となっており、特に県内の主要樹種であるカラマツの価格が6月以降、急激に下落しています。

林業事業者の状況

五月に実施したアンケート調査に続き、9月上旬に林業事業者に対して聞き取り調査等を実施（一六三者のうち一〇三者から回答）したところ、依然として半数以上（五十二％）の事業者が、木材流通の停滞や価格低下により経営に影響を受けていると回答がありました。こうした影響を受けている林業事業者では、素材生産の実施を見合わせるほか、保育間伐や支障木伐採等の実施、市町村等の請負事業の受注などにより対応している状況となっています。（図2参照）

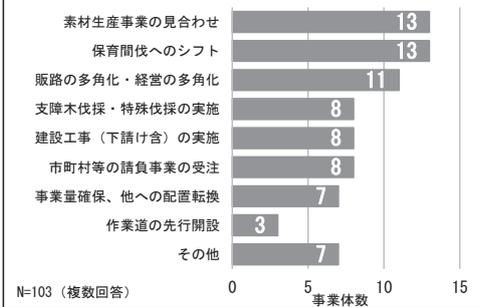


（出典：長野県木材市況調査（R元までは年平均。R2年は月ごとの価格））

【カラマツ中丸太】

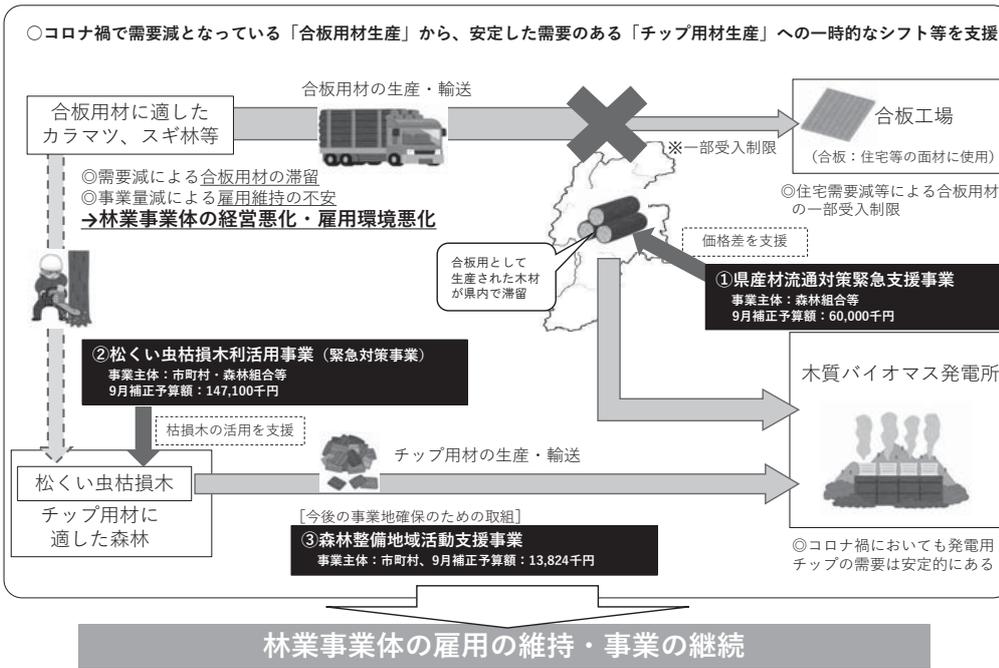
R2年5月 → R2年9月
 15,500円/㎡ → 12,700円/㎡
 (▲2,800円/㎡、18%の減) 図1参照)

図2 林業事業者における影響への対応



（出典：林業事業者への聞き取り調査結果）

図3 令和2年度9月補正予算（新型コロナ対策関係）支援策



令和二年度九月補正予算について
 こうした状況を踏まえ、林務部では、林業事業者が木材生産や森林整備を継続して進めることができるよう、九月補正予算で三つの支援策を実施します。
 事業のイメージは、図3をご覧ください。

一つ目は、コロナ禍で需要減となっている合板用材生産から、安定した需要のあるチップ用材生産への一時的なシフトを支援する「県産材流通対策緊急支援事業」です。二つ目は、バイオマス用材などの需要に応じた木材生産を促進するための「松くい虫損木活用事業」です。そして三つ目は、コロナの影響解消後の速やかな森林施業の実施につなげていくために必要な森林境界案の作成を支援する「森林整備地域活動支援事業」です。

次に、それぞれの事業内容等をご紹介します。

新 県産材流通対策緊急支援事業

予算額 六千万円

滞留している合板用等の県産原木を、木質バイオマス発電用として、県内の木質バイオマス発電施設に販売した場合の価格差を支援します。本事業を活用する場合は、事業計画承認申請書を十二月二十八日までに所管する地域振興局林務課に提出していただく必要があります。詳細は、各地域振興局林務課にお問い合わせください。

事業主体…県産原木の販売を行う者(森林組合、林業事業者等)
補助率…二分の一(上限補助額 三千元/㎡)

松くい虫枯損木活用事業

予算額 一億四千七百万円

松くい虫被害により、山林に放置され、有効活用されていない松くい虫枯損木について、バイオマス燃料等として資源の活用を行うための伐倒、搬出、チップ化等への取組を支援します。

なお、本事業は、既に実施箇所が決定しており、今後、十市町村で事業が進んでいきます。

事業主体…市町村、林業事業者
補助率…十分の九以内
問合せ先 長野県森林づくり推進課 保安林係

026123517275

森林整備地域活動支援事業

予算額 千三百八十二万四千円

森林情報の収集・分析や現地測量等による森林境界案の作成にかかる費用を支援します。

なお、本事業も、既に実施箇所が決定しており、今後、七市町村で事業が進んでいきます。

事業主体…市町村
補助率…定額(③万五千元/ha)
問合せ先 長野県森林政策課 森林計画係

026123517269

依然としてコロナの影響からの回復は見通せない状況にあります。林務部では、今回紹介した3つの事業だけではなく、持続化給付金などの国の支援制度の情報提供や相談窓口の紹介も継続して実施しています。お困りごとがありましたら、お近くの地域振興局林務係へご相談ください。



枯損木の搬出状況



バイオマス用材の集積状況

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう



林野庁長官らが木曽町役場新庁舎を視察

令和二年十月二十三日(金)に、林活議連木曽ブロック連絡会議と木曽広域連合の共催で、森林・林業・林産業活性化促進議員連盟木曽ブロック連絡会議研修会が木曽町で開催され、本郷林野庁長官をはじめ、吉村中部森林管理局長、井出長野県林務部長、木曽地域の町村長など、県、町村の林務関係者が多数出席されました。

研修会に先立ち、現在建設が進められている木曽町役場新庁舎の木の香あふれる建築中の新庁舎を視察されました。また研修会では、本郷長官より持続可能な森林・林業に関する講和、井出林務部長の長野県の林業に関する施策等の説明があり、その後、参加者による活発な意見交換も行われました。

木曽管内では木曽町、上松町、大桑村において、木曽地域の木材を活用した役場庁舎の建設が進められています。今回視察した木曽町役場新庁舎は、木曽福島駅に近接した場所に位置し、総床面積800坪の木造平屋建てで、構造材には地域で生産されたヒノキとカラマツを使用しました。大規模木造建築物になります。また、地元の建築業の皆さんの力を結集し、当地域の伝統的工法である「出梁(だしばり)造り」を採用するなど、「木の国 木曽」の象徴となるべく翌年三月頃の完成を目指し建設されており、木曽ヒノキの産地を強く感じさせてくれる施設です。

【信州の木活用課】

【出梁造りとは】

梁を1階の外壁より外に出し、2階の床を広げる工法で、軒下を広く取ることができ、中山道等の街道筋に多く見られます。写真は、木曽ヒノキを用いた木曽町役場新庁舎の出梁造りによる軒下の様子です。(軒天はサワラの無節材)



建設中の木曽町新庁舎の視察状況

ソヤノウッドパワー

発電所が完成

10月14日、林業の再生を目指す「信州F・POWERプロジェクト」の一翼を担う木質バイオマス発電所の竣工式が行われました。年間約14万tの木材を利用し、発電出力は14,500kwと、木質バイオマス発電所としては県内最大規模となります。

既に稼働している木材加工施設と併せ、良質材から低質材までを余すことなく活用する木材需要の創出により、森林県から林業県への転換を図る基盤ができました。

また、長野県が目指す「2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」に向けた取組としても注目されています。

「信州F・POWERプロジェクト」が目指す、林業再生による長野県経済の発展と気候変動への対応の役割を果たすためには、林業関係者の皆様方のご理解とご協力が不可欠です。

【県産材利用推進室課】



写真はドローンの全景(ソヤノウッドパワー(株)提供)



信州就林セミナーを開催

例年、長野県林務部と長野県林業労働財団が共同で、「銀座NAGANO」に参加者を集めて開催してきましたが、今年は新型コロナウイルス対応で、三密を避けインターネットを通じてのテレビ会議方式で行いました。

参加者は11名、首都圏、長野県内からの参加が主でしたが、愛知、愛媛といった方もおられました。

セミナーのメインとなるＩＴアナーの体験談は、大北森林組合の中里幸一郎さんにお願いたしました。参加者がいない会場でのおしゃべりはやりにくそうではありましたが、様々な映像等も織り交ぜ、移住の経過や林業作業の実際など、実体験に基づく具体的なお話をしていたいただき、「林業の良い面、悪い面を十分把握したうえで、自



質問に答える中里氏

身の価値観やライフスタイルに照らして判断してください。」とのメッセージをいただきました。

参加者からは「女性も普通に働けるか?」、「労働災害が多いと聞いているが実際は?」、「就業に向けた支援の内容は?」など多くの質問があり、それぞれに丁寧にお答えいただき、それぞれ納得された様子でした。

【長野県林業労働財団】

下伊那農業高校林業体験

研修会を開催しました

南信州林業研究会では、下伊那農業高校の生徒を対象に、森林・木材の多様な活用方法と作業体験研修を通じて次代の林業を担う人材を育成するための林業体験研修会を、十月二十二日に飯田市内の同校学有林で開催しました。

研修会はアグリサービス科生産流通コース2学年十八名が参加し、南信州林業研究会が講師を務めました。

午前は、森林・林業に関する知識を学んだ後に、樹上作業と伐採の実演を見学しました。生徒の皆さんは行動の一つ一つの解説を聞きながら、作業を見学し仕事としての林業の理解を深めました。

午後は ①木材の利用・チェーンソー体験 ②除伐作業・チェーンソー体験 ③樹上作業の3つのコースに別れ、実際に作業体験を行いました。それぞれの体験では、普段使う機会の少ない道具を使用し汗をかきながら、指導に従い作業の大変さと楽しさを実感しました。

最後の記念撮影では、生徒も講師も笑顔で終わり、充実した秋の一日となりました。

【南信州地域振興局】



樹上作業体験



最後の記念撮影で全員笑顔!

十一月十五日から狩猟が解禁になります

1 狩猟解禁日

令和二年十一月十五日(日)

(銃猟については、暦の日の出時刻をもって解禁)

2 狩猟期間

令和二年十一月十五日から令和三年二月十五日まで

但し、ニホンジカとイノシシのわな猟に限り令和三年三月十五日まで期間を延長します。

3 狩猟場所

県内全域の一般猟区

(鳥獣保護区、休猟区に指定されていない狩猟可能の場所全て)

4 くくりわなの直径規制解除

ニホンジカとイノシシの捕獲を促進するため、十二cm以下に規制されているくくりわなの直径(短径)が次の期間に限り規制解除されます。

※規制解除期間

令和二年十二月十五日から

令和三年三月十五日まで

5 一日あたりのニホンジカ捕獲数

以下の表のとおりでお願いします。

6 CSF(豚熱)拡散防止対策について

長野県では、狩猟者の皆さまにCSF(豚熱)ウイルス拡散防止対策へのご協力をお願いしております。

狩猟を行う際には、車両や長靴などの消毒等の徹底をお願いします。

【鳥獣対策・ジビエ振興室】

地域	関東山地ユニット	八ヶ岳ユニット	南アルプスユニット	その他のユニット
一日の捕獲数	オス1頭(わな猟に限り制限なし)、メス制限なし ※H29年度から国の捕獲数の制限はなくなっていますが、狩猟期間中のメスの捕獲促進のためお願いしています。			オス、メスともに制限なし

なっとく!

森林経営管理制度

その6

「新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」などの疑問に森林経営管理支援センターがお答えします」

Q 森林経営管理制度に基づく意向調査後はどのようになるのですか?

A 森林経営管理制度に基づく意向調査の回答があった場合は、対象森林の経営管理の見直しについて森林所有者の意向に基づき次のように対応します。

①市町村が経営管理を行う場合

森林所有者から、市町村に経営や管理を委ねることを検討したいと回答があった場合、周辺の森林所有者からの回答、森林の集積の状況等も踏まえ、検討を行い、森林所有者との合意の下で「経営管理権集積計画の作成」を行います。

②市町村による経営管理が難しい場合

市町村に経営や管理を委ねたいとの回答があった場合であっても、周辺森林の回答結果等から、当該森林のみではただちに経営管理権の設定が困難な場合は、市町村の判断により「経営管理権集積計画の作成を行わない」又は、「経営管理権集積計画の作成に向けて」周辺森林の同意取得等の条件整備を進めます。

③森林所有者自らが経営管理を行う場合

森林所有者が自ら経営管理を行う又は、自ら委託先を探して経営管理を委託する旨の意向が表明された場合、市町村は、当該森林所有者に対して当該森林の今後の施業予定について確認し、当該施業予定が、森林法に規定する市町村森林整備計画等に即して適切に施業が実施されるよう支援・指導に努めていきます。

※経営管理権
森林所有者の委託を受けて伐採等を実施するために市町村に設定される権利

森林経営管理制度に関するお問い合わせは

長野県林務部森林政策課森林経営管理支援センター

電話 0260-2095-7266(直通)

E-mail: shinrin-kanri@pref.nagano.lg.jp



長野市立大豆島小学校 夢ナビお仕事講座 に参加しました！

11月2日(月)、長野市立大豆島小学校にて、6年生向けの職業紹介イベント「夢ナビお仕事講座」が行われました。5つの企業が参加し、当会も「森林と林業を学ぼう！」というテーマで参加させていただきました。

森林の大切さや林業の作業についてお話しした後は、実際に子供たちにスギの丸太を鋸で切る体験をしてもらいました。先生や保護者の方々のご協力のおかげで、安全に作業することができました。



実際に防護服を着用して説明を行いました。子供たちはチェーンソーに興味があるようです。ハーベスタが伐木・造材を行う映像にも、歓声が上がりました。



子供たちのために
がんばる
大人の皆さん



丸太は
北信木材
センターから
搬入しました



スギを輪切りにしたあと、やすりで磨いていきました。自分で切ったスギはお土産です！



令和2年
記念市開催のお知らせ

中信木材センター 11月16日(月)
伊那木材センター 11月17日(火)
北信木材センター 11月18日(水)

買い方の皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

ホームページをリニューアルしました！

長野県森連のホームページが新しくなりました！情報発信を充実させてまいりますのでご活用いただければ幸いです。



県森連 HP は
こちらから

長野県森連

森林保険担当者会議を オンライン開催しました！

10月16日(金)、森林保険担当者会議をオンラインで開催しました。県内森林組合から、日頃森林保険業務を担当されている職員の方々を中心に30名が参加されました。

当日はMicrosoft Teamsを使用し、森林保険の概要から、申込みの事務手続や損害発生時の手続等、約2時間半の説明を行いました。また、森林組合の担当者からも、推進の取組について発表をいただきました。

コロナ渦ということもありますが、南北に広い長野県では移動時間の短縮という点においても、オンライン会議は有効な手段だと感じた一日でもありました。会議の内容で疑問点がありましたら、当会指導利用課にお問合わせください。



配信の様子

長野県の木材市況

令和二年十一月十日発行 長野の林業通巻三七〇号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

事務局長野県林業普及協会
電話〇二六(二三七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

第1046回 市況表

(令和2年10月14日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	15,500	13,000	
		直	24~30	15,000	13,000	
のき	4.0	直	14~16	14,500	12,000	引き合いあり。
		直	16~18	15,000	12,000	
		直	18~22	17,000	12,000	
		直	24~28	16,500	12,000	
すぎ	3.0	直	14~16	8,000	6,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	7,000	5,000	
	4.0	直	18~22	7,000	6,000	
		直	24~28	13,000	7,000	
なら	4.0	込	30上	16,000	11,000	安定的な需要あり
		込	14~28	12,000	9,000	
くるみ	4.0	直	30上	31,000		良材に高値。
かんたん	3.6	直	44	41,000		
くり	4.0	直	18~24	25,000	12,500	良材に高値。
ほう	4.0	込	24上	45,000		
からまつ	4.0	直	36上	14,100		良材に高値。
		込	18上	11,000	9,000	

出品量 1,288㎡ 販売量 1,271㎡ 落札率 98.7% 買い方 30社

今回も出品にご協力いただきありがとうございました。ひのき(良材)に高値がつき、また4m下目材、中目材に関しても地場のお客様を中心に引き合いが強い状況が続いております。杉に関しても価格は横ばいですが、安定した需要を保っています。広葉樹にも応札数が多く活発な売りとなりました。11月17日(火)には当センターの周年記念市を行う予定です。良材を伐採される予定の方は是非、出品にご協力して下さい。記念市当日は、コロナ禍の為、大変申し訳ありませんが、入札会場は買い方のみ入室とさせて頂きますので何卒ご理解の程よろしく申し上げます。出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしく申し上げます。

第1048回 市況表

(令和2年10月15日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	7,000	価格前回同等。荷動きあり。
		直	20~28	12,000	7,000	
ひのき	3.0	直	20上	17,000	12,000	柱、土台取り安定した需要。30上直材引き合いあり。
		直	18~28	17,000	13,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	価格横ばい。荷動き復調。
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	20上	14,500	9,000	
		曲	14~18	10,000	8,000	
あかまつ	4.0~8.0	込	26~38	17,600	7,100	需要あり。
けやき	2.0~4.0	一本	20~78	48,000	18,000	良材に高値。
さくら	2.0~4.0	込	20~34	29,000	16,000	次回記念市
くり	2.0~4.8	込	20~38	23,000	14,800	是非ご出品ください。
なら	2.0~4.0	込	20~42	14,000	11,000	
いちい	4.0	本一	20~32	20,000		良材に高値。

出品量 6,516㎡ 販売量 4,100㎡ 落札率 62.9% 買い方 40社

ひのき、あかまつ、広葉樹を中心に材が集まり、良材に活発な引き合いのある市となりました。大径材や高齢級材等良材に高値が付き、なら・くり・さくらも安定した需要が続いています。針葉樹合板用材は価格横ばいのまま出荷制限中ではありますが、一般製材用や土木用材は地場での需要があり、復調の兆しが伺えます。伐採のご予定がありましたら、一度ご相談くださいませ。次回は開設58周年記念市となり、買い方からも良材に期待が高まっております。伐採されるご予定の方は是非、出品にご協力をお願いいたします。
【当連合会は合法木材に取り組んでおります】合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1080回 市況表

(令和2年10月13日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	14	9,000	7,000	
		元直	16	12,500	8,000	
		込	18~24	14,000	13,500	
のき	4.0	込	26~28	12,000	10,500	需要あり 出品願います。
		込	30上	16,500	13,500	
		中込	16~22	12,000	11,000	
		込	24~28	11,000	10,000	
		込	30上	16,500	13,500	
		込	30上	16,500	13,500	
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	杭材のみ需要あり。
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	20上	18,500	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
ひのき	4.0	直	20上	11,000	9,000	需要あり 出品願います。
		直	40上	22,500	15,000	
とち	4.2	直	26~32	27,000	18,000	高齢級材
		曲	28~32	23,000	13,000	
なら	2.0	曲	24	18,000		応札少なめ
なら	2.0	直	22~50	23,100	14,200	需要あり。

出品量 7,002㎡ 販売量 4,119㎡ 落札率 58.8% 買い方 41社

秋も深まりつつある中、今回も前回同様に飯綱山国有林の高齢級カラマツ、国有林ヒノキが出材され、ヒノキ中心に高値で取引されました。広葉樹では古材のナラの出材があり、白木部分に欠点はあるものの、木柄の良い材には高値がつき、需要の高さがうかがえました。針葉樹合板は若干荷動きがあるものの、木材の値段や製品の荷動き等、未だ厳しい状況が続いております。需要動向を確認し販売推進に努めてまいりますので、引き続きご協力をお願い致します。
<次回は開設62周年記念市となり伐り匂や秋葉の到来に向け良質材の御出品をお願い致します>
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」)コメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第528回 木材共販市況表

(令和2年10月29日実施)



出品量 800㎡・買い方 17社・落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	直	14	9,000	7,000	1,960	
		元直	16	12,500	8,000	2,240	
		込	18~24	14,000	13,500	3,780	
		込	26~28	12,000	10,500	2,940	
		込	30上	16,500	13,500	3,780	
		中込	16~22	12,000	11,000	3,080	
		込	24~28	11,000	10,000	2,800	
		込	30上			0	
		元直	16~22	16,500	13,500	3,780	
		元	24~28	17,000	14,000	3,920	
のき	4.0	込	30上	22,000	18,500	5,180	一本売り
		込	40~			0	
		中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
		込	16~22	15,000	13,500	3,780	
すぎ	3.0	込	24~28	14,000	10,500	2,940	
		込	12下	360	300		
すぎ	4.0	直	18~22	7,000	6,500	1,820	
		込	24~32	7,000	6,500	1,820	
のき	4.0	直	16~18	7,000	6,500	1,820	
		直	20~22	8,000	7,500	2,100	
のき	4.0	直	24~28	10,500	8,500	2,380	
		直	30上	12,500	11,000	3,080	
からまつ	3.0	込	14~22	4,500	4,000	1,120	
		込	12~14	4,500	4,000	1,120	
		込	16	6,000	5,000	1,400	
		込	18~28	12,500	9,000	2,520	
		直	30上	13,300	10,000	2,800	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
からまつ	4.0	直	12下	320	270	76	一本売り
		直	30~36	35,900	28,900	8,092	

総評
全体の出荷量少ない。
ひのきは引き続き出荷量少なく、価格は横ばい。
すぎ、応札あるも価格は横ばい。
からまつ引き合いあり価格はやや上昇。
引き続き出荷の協力をよろしくお願いいたします。